

# 学校給食だより 秋田っ子給食

NO-16

公益財団法人 秋田県学校給食会

## 大仙市「給食献立コンテスト」

### 清水小・千葉さん最優秀

### ～市の特産品使いスープに～

大仙市の小学5年生が給食メニューのアイデアを競う「第11回ふるさと給食献立コンテスト」の表彰式が26日、同市神宮寺の神岡農村環境改善センターで開かれた。

市内20校から387点が寄せられ、最優秀賞の「おおきなせなかにこにこスープ」を考案した千葉香穂さん（清水小）らに表彰状が贈られた。

千葉さん考案のスープは、「太田産・横沢曲がりネギ」「中仙産・杜仲豚」など大仙市の旧8市町村それぞれの特産品を具材として使用しており、市特産の食材のおいしさを伝えたいという思いが評価された。名前にある「おおきなせなかに」は市が合併時に掲げた将来像のフレーズの一部で、旧8市町村の頭文字から取ったものという。

コンテストは食育への関心を高めようと、市学校給食協会（齋藤靖会長）が2011年から開催。学校長、給食センター所長、栄養士などによる審査で選ばれた最優秀賞1点と優秀賞4点は、11月中に給食で提供される。

式で齋藤会長から表彰状を受け取った千葉さんは、「最優秀賞を取れてうれしい。給食が自分たちの健康や成長につながっていることが分かった」と話した。

（秋田魁 佐藤和輝）

（「令和3年10月29日（金）のさきがけ新聞」の記事より、一部抜粋）